



ラシアン・コンフリーについて

問 最近、畜産新聞などでラシアン・コンフリーという飼料作物を知りましたが、詳しくお知らせ下さい。(青森県 小笠原寿男、新潟県 井上七郎右エ門)

答 ラシアン・コンフリーという飼料作物が発表されておりますが、暖地においても栽培できるでしょうか。また瘠地でも生育するのでしょうか。栽培法及び利用法についてお知らせ下さい。(千葉県 池田 瞭)

答 最近各所において注目を集めているラシアン・コンフリーについて、このほかにもいろいろ問合せがありました。一括してその概要をご説明いたします。

ラシアン・コンフリーは原産地がコーカサス地方で、約一〇〇年前に英国に導入され胃や腸の薬草として利用されてきたが、次第に改良されて蔬菜用、飼料用としても価値のあることが明らかにされ、世界に拡がりつつあるといわれています。

初めてで、その後、各地で試作栽培されています。

性 状

ラシアン・コンフリーはムラサキ科、ヒレハリソウ属に属する植物で、同じヒレハリソウ属のオオハリソウに近い種であろうと思われます。

草状は多年性草本で、葉の大きさは幅二五センチ、長さ五〇センチくらいあり、写真の通りゴボウの葉のように繁茂いたします。春期と秋期に抽薹し、紫紅色の花をつけますが、種子は稀にしか稔実しません。

根もゴボウの根に似て深根性で、数本に分岐し、この根を、長さ五〇センチくらいに切断して増殖することができます。

特 性

根が深いので、暑熱、早魃に耐え、夏期に繁茂し、根を一度栽植すると、多年に亘



(生育中のラシアン・コンフリー)

って刈り取りができます。

埼玉県では春四月下旬から、一月上旬まで、毎月一回の刈り取りができ、一〇坪当たり年間一三トの生草収量をあげています。札幌市で行なった試験では、七月下旬から一〇月上旬まで三回刈り取り、年間約六トの生草を収穫しております。

家畜(乳牛、鶏)の嗜好は良く、蛋白質含量はラデノクロバエとほぼ同様であるといわれ、抽薹した茎も木化部分が少なく、細切して給与すれば、殆ど食い残しがありません。

適 地

沖積の排水良好な腐植に富んだ土壌が最適ですが、瘠薄地でもかなりの収量をあげることができるといわれています。

繁 殖

性状のところ述べたように、種子による増殖ができないので、根を長さ五〇センチに切り、これを本圃へ直ちに植付けるか、あるいは苗を作って植えつけます。苗は簡単な苗床を作り、それに五センチの分根を、上部を上にして立てて植付け、密度は一〇×一〇センチくらいがよいでしょう。時期は四月から五月または九月頃がよいようです。

植 付 け

本圃への植付けは五月か六月または一〇月頃で、栽植密度は八〇×九〇センチ平方に一株植えにいたします。先ず植付け箇所には深さ三〇×五〇センチ、径三〇センチの穴を掘り、これに堆肥(一穴二〜三キビ)と金肥を施し、間土を行ない植付けます。施肥量が多い方がよく、文献によると、一〇坪当り石灰九

〇キ、燐酸九〇キ、加里一八〇キとあり、窒素は基肥に少々施し、刈り取り後追肥として逐次行なうべきでしょう。

病 害 虫

病害は現在のところ認められないが、害虫による被害、特に、線虫の被害を受けやすいので、線虫のいない圃場を選んで植付けるように注意し、その後の管理でも、線虫に対する留意が最も大切と思われます。ラシアン・コンフリーの苗を入手されたい方は前記土井氏宛御照会下さい。弊社では昨年より試作試験を実施しておりますが、現在販売いたしておりません。(かねこ)

会員募集

雪たね同友会 の御案内

■会員の特典

- ・各種種子、苗木、球根を小売価格の割引いたします(会員の方は、あらかじめ割引いて御送金下さい)。
- ・毎月一回「牧草と園芸」を送ります。
- ・御注文の額に並び、新品種、優良品種の試作用小袋を進呈します。
- ・酪農及び園芸に関する御相談に並び、また農場見学、技術指導が受けられます。
- ・そのほか、適時サービスを行ないます。

■入会手続

- ・入会御希望の方は、会費(一カ年分二百円)を添え、御申込み下さい。
- ・会費が入金になると会員名簿に登載し「牧草と園芸」及び会員番号を付した会員証を送ります。